

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	4. 歴史資料の調査・収集・保存等					
項	1. 総務管理費	細事業名	1. 佐倉藩政資料保存整理普及					
目	4. 市史編さん費	担当課・係	行政管理課 (執行課: 行政管理課)					

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,794	要 求									1,794
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/佐倉藩政資料等の歴史資料						
	【佐倉藩政資料等歴史資料の収集・保存に関する業務】	施策体系コード	03-05-02-10-55			事業番号	35-1		
	佐倉藩政資料等の歴史資料を収集・保存・活用し、次世代に伝える。	総事業費	9,150千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			1,830	1,830	1,830	1,830	1,830		

(事業実施に関する根拠法令)  
 公文書館法(昭和62年12月15日法律第115号)  
 佐倉市史編さん委員会条例(平成10年条例第2号)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 「下総佐倉堀田家文書」を中心とした、佐倉市に所蔵または寄託されている古文書の保存・整理・普及事業を行う。 資料目録の整備と資料の保管現況を確認し、中性紙の保存容器に収納して適切な保存管理を行う。 マイクロフィルム撮影により複製資料を作成する。 市民に向けて古文書を活字化した冊子刊行の準備のため、古文書の解読作業を進める。	(事業の目的) 「下総佐倉堀田家文書」を中心とした古文書等の歴史資料を保存するとともに、佐倉市に残されている歴史遺産としての重要性を市民に伝え、その理解をはかってゆく。	(事業の効果) 古文書等の佐倉の歴史資料が保存・整理されることによって、市民が誇れる財産として将来に伝えることができ、その資料を調査研究することによって、新たな佐倉の歴史像を構築することができる。
(事業実施上の問題点) 「下総佐倉堀田家文書」は現在旧堀田邸土蔵の中に保管されており、保存環境の面で解決すべき問題がある。また、資料目録の整備が必要なものや、未整理の資料が存在しており、将来的な活用に向けて、長期的な視野で事業をすすめる必要がある。	(前年度からの見直し点) 特になし。	(見積についての特記事項) 資料の利活用を主眼として、マイクロフィルム撮影を優先して実施する。